

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	1	子どもを安心して産み育てられる環境づくり

事業名	病後児・体調不良児保育事業	担当課名	こども育成課
-----	---------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
教育・保育サービスの充実を図るため、病後児・体調不良児保育を実施することにより、保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成及び資質の向上を図り、もって児童福祉の充実に資する。
(事業概要等)
教育・保育の実施を受けている児童が病気又はけがの回復期にあり、集団保育の困難な期間、一時的にその児童を預かり、保育を行う。また、保育中に体調不良となった場合、保育所における緊急的・保健的な対応を図る。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	6,829	7,436	10,406	10,406	
うち市負担分(千円)	2,275	2,479	3,470	3,470	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
病後児保育延べ人数	人	2	1	9	-
体調不良児保育延べ人数	人	857	914	921	-
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
教育・保育の実施を受けている児童が病気又はけがの回復期にあり、集団保育の困難な期間において一時的にその児童を預かり、保育を行った。また、保育中に体調不良となった場合、認定こども園等における緊急的・保健的な対応を行った。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	利用促進のため啓発を行い、制度について理解を得ることが出来た。
------------	---------------------------------

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	昨年度と比べ利用は微増だが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている。
-----------------	--------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 事業効果(成果)の判断を踏まえ、現状を維持することが適切と評価されるため。
	改革・改善策等の具体的内容	制度の有用性について啓発し、利用の促進を図る。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	2	充実した就学前教育・子育て環境の提供

事業名	認可外保育施設健康診断助成事業	担当課名	こども育成課
-----	-----------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	認可外保育施設の保育の充実を図る為、認可外保育施設に従事する職員に対し、健康診断を実施することにより、利用する児童の衛生・安全を確保し、児童の健全育成に資することを目的とする。
(事業概要等)	認可外保育施設を利用する児童の衛生・安全対策事業として、認可外保育施設の保育従事者及び調理担当職員の健康診断に要する経費の一部を補助金として交付する。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	62	59	54	126	
うち市負担分(千円)	21	20	18	42	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
事業実施率(事業実施保育所数/無認可保育所数)	%	100	100	100	100
利用者数	人	16	16	15	30
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
本市に所在する認可外保育施設に対して100%実施することができた。また、利用職員数も10人を超えていることから、認可外保育施設を利用する児童の衛生や安全の確保、更には健全育成に資するものになっていると判断する。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	利用促進のため各認可外保育所に対し制度の説明を行い、保育士の健康管理が子ども達の衛生環境に大きく関わることについて啓発し、制度についての理解を得られた。
------------	------------------------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	補助健診項目の内容を感染症(結核、赤痢、サルモネラ菌、O-157)の有無に限定していることから、通常健康診断以外に受ける必要があること等が課題として挙げられる。又、保育士等の入れ替わりも多く、制度の周知の引継が行われていない。
-----------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 事業効果(成果)の判断を踏まえ、現状を維持することが適切と評価されるため。
改革・改善策等の具体的内容	認可外保育施設に対し、補助金活用の周知徹底を図る。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	2	充実した就学前教育・子育て環境の提供

事業名	認定こども園維持管理事業	担当課名	こども育成課
-----	--------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
教育・保育サービスの充実を図るため、保育所の円滑な運営に必要な施設の維持管理を行うことにより、子どもの最善の利益を考慮して、その生活と健全な発達を保障するとともに、保護者に仕事と子育ての両立及び地域の一般家庭への子育てを支援し、児童福祉の充実を図る。
(事業概要等)
認定こども園の施設整備など、園所の円滑な運営に必要な維持管理を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	86,459	91,417	93,867	121,345	
うち市負担分(千円)					

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
保育所運営率: 年間に正常な運営をした日数/年間運営日数	%	100	100	100	100
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
建物の老朽化が進んでいる中で、認定こども園の運営に必要な最低限の施設維持管理は堅持している。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	建物の老朽化が激しく、維持管理に必要な予算も限られているため、可能な範囲でしか改善を行えず、多くが簡易修繕になってしまっている。
------------	------------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	建物の老朽化が激しく、簡易修繕では対応できなくなっている。今後、大規模修繕や改築等が必要になると考える。
-----------------	------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 施設の老朽化が加速度的に進行する中で、保育所の維持管理も比例するかたちで増大するが、認定こども園3園については、今後も維持管理にかかる予算を確保し行って行く必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	今後は、令和2年10月に策定した泉大津市就学前教育・保育施設再編実施計画に基づき、必要な修繕等を計画的に行い、教育保育機能を維持していく。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	②	充実した就学前教育・子育て環境の提供

事業名	保育環境改善等事業	担当課名	こども育成課
-----	-----------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市内の幼保連携型認定こども園が実施する新型コロナウイルス感染症拡大防止に資する事業に対し補助を行い、子どもの健やかな育ちの環境を整える。
(事業概要等)
利用児童にとっての保育環境の改善をめざし、感染症に対する強い体制を整えるため、市内の幼保連携型認定こども園に対し、職員が感染症対策の徹底を図りながら業務を継続的に実施する事業及びマスクや消毒液等の衛生用品や感染防止のための備品の購入、施設の消毒等を行う事業に対し補助を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	0	3,500	2,967	0	
うち市負担分(千円)		1,750	1,483		

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
事業実施率(事業実施こども園数/こども園数)	%	0	100	100	-
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
市内全園にて事業実施し、物品購入、感染症対策業務に従事する職員の手当等、各園に応じた感染防止対策を講じることができた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	感染者数の減少は、さまざまな要素が複合的に作用して実現するものであるため、本事業単体でどれほどの事業効果があったかをはかることが難しい。
-----------------	----------------------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 事業効果(成果)の判断を踏まえ、現状を維持することが適切と評価されるため。
改革・改善策等の具体的内容	感染症対策は今後恒常的に必要となるため、国等の要綱に追従して継続実施するべきである。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	2	充実した就学前教育・子育て環境の提供

事業名	保育所維持管理事業	担当課名	こども育成課
-----	-----------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
保育サービスの充実を図るため、保育所の円滑な運営に必要な施設の維持管理を行うことにより、子どもの最善の利益を考慮して、その生活と健全な発達を保障するとともに、保護者に仕事と子育ての両立及び地域の一般家庭への子育てを支援し、児童福祉の充実を図る。
(事業概要等)
保育所の施設整備など、園所の円滑な運営に必要な維持管理を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	14,441	13,084	11,536	17,517	
うち市負担分(千円)					

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
保育所運営率: 年間に正常な運営をした日数/年間運営日数	%	100	100	100	100
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
建物の老朽化が進んでいる中で、保育所の運営に必要な最低限の施設維持管理は堅持している。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	建物の老朽化が激しく、維持管理に必要な予算も限られているため、可能な範囲でしか改善を行えず、多くが簡易修繕になってしまっている。
------------	------------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	建物の老朽化が激しく、簡易修繕では対応できなくなっている。
-----------------	-------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 施設の老朽化が加速度的に進行する中で、保育所の維持管理も比例するかたちで増大するが、現状、保育所ニーズも一定あることから、必要な改修については行っていく。
改革・改善策等の具体的内容	今後は、令和2年10月に策定した泉大津市就学前教育・保育施設再編実施計画に基づき、必要な修繕等を計画的に行い、教育保育機能を維持していく。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	2	充実した就学前教育・子育て環境の提供
事業名	民間認定こども園等運営補助事業	担当課名	こども育成課	

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
保育サービスの充実を図るため、民間認定こども園が実施する保育内容の充実を図るための事業を補助することにより、子どもの最善の利益を考慮して、その生活と健全な発達を保障するとともに、保護者の仕事と子育ての両立及び地域の一般家庭への子育てを支援し、もって、児童福祉の充実に資する。
(事業概要等)
民間認定こども園が実施する泉大津市民間認定こども園運営費補助金交付要綱第3条及び別表に定める事業に対して補助を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	86,926	88,834	107,325	116,647	
うち市負担分(千円)	74,762	64,835	82,974	89,655	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
事業実施率(実施事業数/(事業数×施設数))	%	77	77	78	80
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
要綱第3条及び別表に定める事業(事業数:8)のうち、運営事業、学校医手当加算、園外保育事業、延長保育事業については100%の実施状況にある。一方、障害児保育・軽度障害児保育対策については、入所児童によって増減するものであり、一概に成果を求めることは難しい。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	民間認定こども園の教育・保育内容の充実を図ることを目的とした補助事業であるが、補助対象経費には、障害児保育対策費等、対象児がいないと実施に至らない事業もあるため、より事業効果を高めることをめざし、民間事業者の創意工夫を促すような事業を補助対象として加える等、補助対象について検討が必要である。
-----------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 事業効果(成果)の判断を踏まえ、現状を維持することが適切と評価されるため。
	改革・改善策等の具体的内容	特になし

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	2	充実した就学前教育・子育て環境の提供

事業名	民間認定こども園等施設整備助成事業	担当課名	こども育成課
-----	-------------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
大阪府補助金等を活用し、民間認定こども園が実施する整備事業を補助することにより、子どもを安心して育てることができる体制整備を行うことを目的とする。
(事業概要等)
令和5年度は、民間認定こども園(アンビー・条東こども園)が実施する泉大津市特定保育・教育施設整備費補助金交付要綱第2条に定める事業に対して補助を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	96,360	346	225,288	102,300	
うち市負担分(千円)	24,090	87	56,322	34,100	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
事業を行うことにより増えた定員数	人	50	—	48	—
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
令和4年度は条東こども園の大規模改修を行い、0～2歳を受け入れる定員を増やした。令和5年度はアンビー及び条東こども園において大規模改修を行う予定で、保育室や病児保育室の改修を行い、安心して働きながら子育てができる環境を整える。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	特になし
------------	------

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	特になし
-----------------	------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 事業効果(成果)の判断を踏まえ、現状を維持することが適切と評価されるため。
改革・改善策等の具体的内容	特になし	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	⑤保健・医療	1	健康づくりの増進

事業名	あしゆびプロジェクト	担当課名	こども育成課
-----	------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、子どもたちに対し、足指の運動を中心とした取組を行うことを通じ、足部のトラブルを未然に防止し、正しい育成を促すとともに、怪我をしない身体や正しい姿勢を習得できる環境作りを進める。
(事業概要等)
就学前施設での運動指導を委託している「こども体育あそびnet.」にあしゆびの要素を取り入れた運動を加えてもらうとともに、子どもたちが自然とあしゆびを使った動きができるよう、保育士等に対し運動指導についての研修会を行い、日々の保育の中でもあしゆびの力を高めることをめざす。並行して、あしゆびプロジェクトの事業効果をはかるため、あしゆびの力と運動能力の相関性について分析を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,326	1,411	8,692	3,658	
うち市負担分(千円)					

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
あしゆび研修会参加人数	人	—	—	—	105
あしゆび測定人数(延べ)	人	137	162	103	210
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
あしゆびの要素を取り入れた運動指導を行い、日々の保育においては子どもたちに鼻緒のついた草履をはいてもらい、あしゆびに対する意識の醸成を図った。令和4年度は、子どもを対象としたあしゆびプロジェクトについて、成果連動型委託契約(PFS)の導入が事業効果を高めるかについて調査を実施。関係者へのサウンディングにより、事業目的の達成度を可視化できる成果指標を設定するなど事業スキームが固まったため、令和5年度はPFS方式にて事業を実施することを決定した。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	あしゆびの要素を取り入れた運動の導入。 PFS方式による事業実施の決定。
------------	-----------------------------------------

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	成長著しい子どもについては、運動能力の向上が成長によるものなのかあしゆび力の向上によるものなのかの判定が難しい。
-----------------	----------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) あしゆびを鍛えることで、子どもの健康や運動能力向上が期待できるため。
改革・改善策等の具体的内容	体育あそびを実施してもらっているこども体育あそびnet.とPFS(成果連動型民間委託)契約を結び、課題解決に向けて進めて行く。 【課題解決の方向性】 ・普段の園生活の中で体(あしゆびを含む)を使う機会が増えるよう、日々接する園職員の理解を促す。 ・家庭でも取り組めるよう、保護者の理解を促す。	